

分野
計画

文化振興計画

地域資源を活かし、文化に親しむ取組の推進

- 文化に触れる機会づくり
- 高齢者、障害者、子育て世代等に対する機会の拡充
- 情報の収集・発信と共有化
- 地域資源(文化財・伝統文化・自然環境)を活かしたまちづくりの展開
- 文化交流活動の活性化・多文化共生の推進

次代の文化を担う人材育成の活動の支援

- 青少年や次世代アーティストを呼び込む文化芸術環境の更なる拡充
- 文化を支える人材の育成と団体支援・ノウハウ継承
- 企業連携・大学連携による文化振興に関する環境整備・人材育成

市民参画による文化振興に向けた環境整備

- 文化施設を核とする文化振興の取組
- 市民参画による協働の推進
- 庁内推進体制の更なる充実



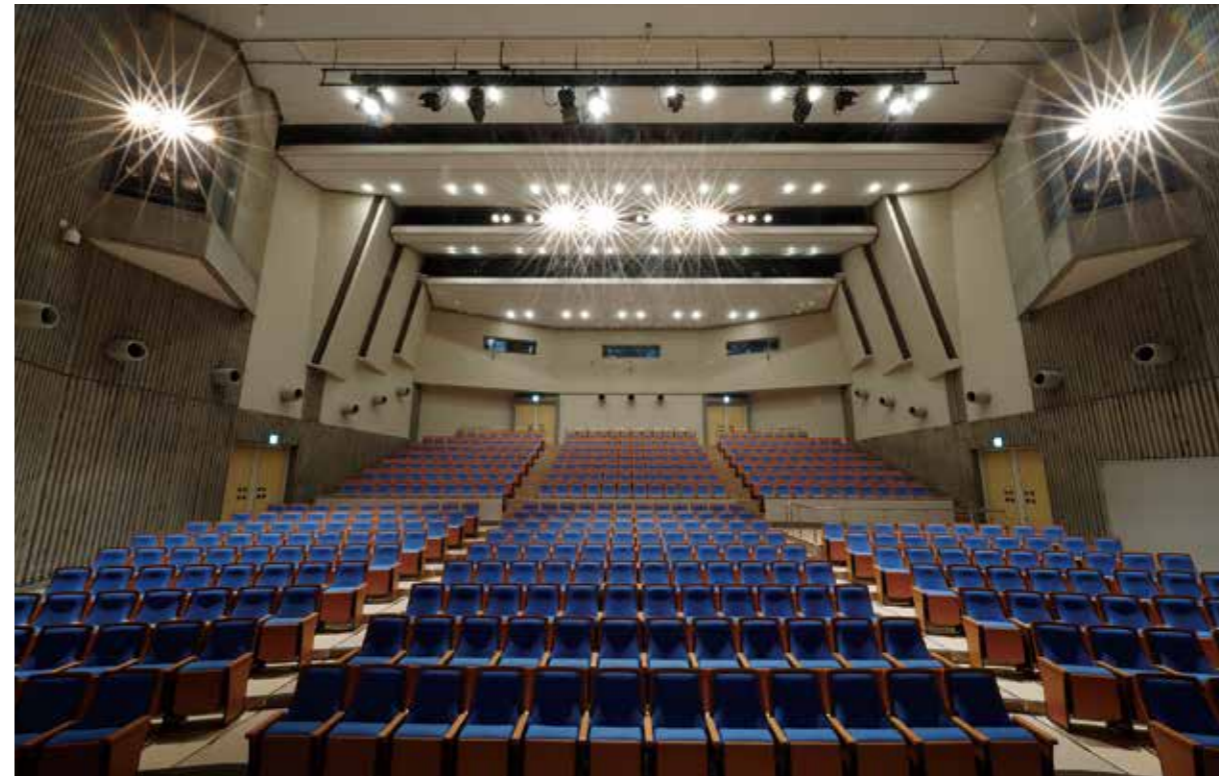
スポーツ・健康づくりの推進

- スポーツ活動の推進と人材の育成
- スポーツによる健康増進
- 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備



指標(KPI)

重要業績評価指標	基準値	目標値(令和7年度)
「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合	22.7% (令和2年度)	25.0%
市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数	19,081人	22,000人
「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合	39.8% (令和2年度)	50.0%
市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数	72,300人	78,000人
「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合	84.0% (令和2年度)	90.0%



基本
方向

市民一人ひとりの暮らしの中に文化が薫る芸術・文化活動の振興を図ります。また、生涯にわたり健康づくりや仲間づくりが進められるよう、気軽に楽しめるスポーツ活動の振興を図ります。

現状と課題

人間性や創造力・感性を育成
文化・スポーツは、豊かな人間性や創造力・感性を育成するとともに、他者と共感し合い、相互の理解を促進します。また、文化財や伝統文化、自然環境の地域資源は多様な分野で活用され、地域への愛着や理解を促進させる力を持っています。2021年に延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、本市における文化・スポーツ振興の大きな追い風となることが期待されます。

育む市民の手作り文化
本市では、直近10年間で、コミュニティプラザや別府コミュニティセンターの新設、市民文化ホールのリニューアル等、文化芸術活動の場を拡充することで、市民による手作り文化の発展を支えてきました。今後も、誰もが身近に文化に触れられるよう、鑑賞・表現できる機会を提供するなど、市民が主役の文化振興を支援していく必要があります。

多文化共生社会の実現
改正入国管理法により、今後外国人の受け入れ等により、今後も外国人住民が増加していくことが想定されます。本市在住の外国人が地域の一員として交流を深めていくよう、多文化共生の社会を実現していく必要があります。

誰もが気軽にスポーツ活動を
国内におけるスポーツ人口は右肩上がりに増加しており、競技スポーツだけでなく、健康志向やレクリエーションを目的としたスポーツも普及しています。本市では、スポーツ活動団体や健康づくりグループが活発に活動されており、スポーツを通じて地域住民のつながりを深めることができます。年齢や性別、障害の有無等に関係なく、誰もが気軽にスポーツ活動ができるようには、各種スポーツを推進する人材の育成や、個人の状況に応じた参加機会を創出する必要があります。

教育
8-3

文化・スポーツ

